



大島事業所トピック

No. 343

島しょ農林水産総合センター大島事業所発行

平成24年12月26日

〒100-0212 東京都大島町波浮港 18

Tel 04992(4)0381 Fax 04992(4)0383

ホームページ <http://www.ifarc.metro.tokyo.jp>

平成 25年1～6 月の伊豆諸島周辺海域の海況見通し

黒潮は、1 月は C 型でその後 N 型となり、3月以降 B・C 型となる

平成 24 年 12 月 18、19 日に神奈川県横浜市において漁海況予報会議が開催され、平成 25 年 1～6 月の海況予測が水産庁より発表されましたのでお知らせします。

熊野灘～伊豆諸島北部海域が概ね「平年並み」～「低め」、鹿島灘～常磐南部海域が「平年並み」から「やや高め」で推移する模様です。

海況の現況

黒潮は、6 月下旬以降 N 型基調で推移し、11 月中旬に B 型となり、12 月上旬には C 型に移行しました。12 月 25 日現在、黒潮は、伊豆列島線上の 32° N 付近まで南下した後、向きを北に転じ同列島線の東側を房総半島沖へ流れています。

伊豆諸島北部海域の海況見通し

伊豆諸島北部海域は現在、黒潮の内側、冷水域に入っています。年明け後も、概ね冷水に覆われ、沿岸水温は「平年並」～「低め」で推移する模様ですが、黒潮流路変動に伴い、内側域への一時的な暖水波及時には「高め」となります。

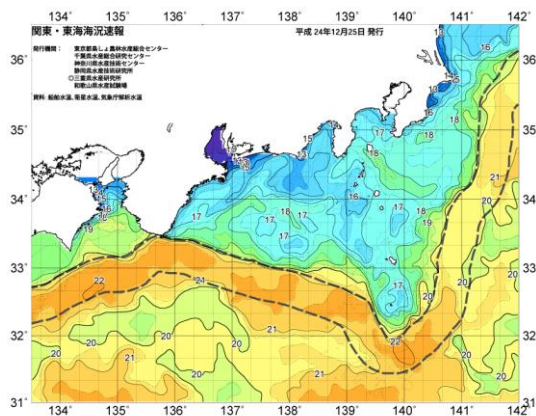


図1 関東・東海海況速報
(平成 24 年 12 月 25 日)

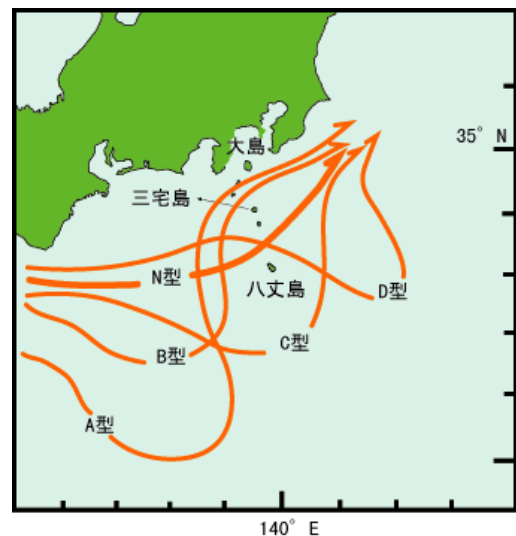


図2 黒潮流路の代表的なパターン

- A型：遠州灘沖の冷水塊の規模が大きく、長期間継続
- B型：冷水塊が遠州灘沖に存在、A型ほど大きくない
- C型：冷水塊は伊豆諸島の東西にまたがって存在
- D型：冷水塊が伊豆諸島の東側に存在
- N型：本州に平行に直進

(注：海上保安庁海洋情報部HPより転載)

海況予測 (平成 25 年 1～6 月)

黒潮は、1 月まで C 型が継続し、その後 N 型となり、3 月以降は B・C 型で推移する見込みです。また、房総沖では 1～2 月に冷水域が通過し、離接岸変動があります。足摺岬～潮岬沖では接岸傾向で推移しますが 1 月～2 月に小蛇行の東進により一時的に離岸します。

沿岸水温は、潮岬以西が「平年並み」～「低め」、